

平成28年度「目標達成のための具体的施策」進捗状況評価

<評価>

- 「良好」 = 施策の工夫や改善により、何らかの成果が得られたもの
 「継続」 = 施策について実施済みであるが、引き続き行っていくもの
 「改善・見直し」 = 施策の内容について再検討が必要とされるもの

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(1) 情報の提供	改善・ 見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● 冊子・リーフレットの作成、配布 ごみと資源の分け方・出し方 (保存版 13,000部・4か国語版 6,000部 ※料金改定のため、保存版は半年分) Bunkyo ごみダイエツト通信 (4回 各 8,000部) 児童向けパンフレツト リサイクル推進協力店リーフレツト (3,500部) 登録店舗数 47店舗 ● Bunkyo ごみダイエツト通信を、Bーぐるの車内に配置した。 第22号 (12月)、第23号 (3月) ● 区報「文京区一般廃棄物処理基本計画」特集号の新聞折込を行った。 5月23日 98,710部 ● 区報を活用した啓発 9/25号 (1面) 食品ロスの削減 2/10号 雑がみ回収、禁忌品の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ● Bunkyo ごみダイエツト通信を多くの区民に読んでもらえるよう、発行形態や配付方法の見直しを行った。 29年度は年2回の発行とし、うち1回は新聞折込を行う予定。 ● リサイクル推進協力店は、閉店等により登録店舗数が減少している。文京区商店街連合会のポイントカード事業 (エコ会員制度) 加盟店に働きかけを行うなど、登録店舗を増やしていく。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 各イベント・講座等の実施状況 【文京エコ・リサイクルフェア】 10月22日(土) リサイクル・環境団体等ブース出展 21 団体 【ステージ・エコ (フリーマーケット)】 区民ひろば 5 回、教育の森公園 2 回開催。出店数 延べ 299 店 【リサイクル推進サポーター養成講座】 5月18日～6月15日(水)全5回 「今日から実践! 2R」 講師 河合 亮子氏(農林水産省)、井出 留美氏(食品ロス問題専門家)、 小林 由未子氏(整理収納アドバイザー)、鬼沢 良子氏(持続可能な社会をつくる元気ネット)、リサイクル清掃課長 一般 12名参加 リサイクル推進サポーターの聴講 3名 【団体育成支援公開講座】 12月5日(月)「食から考える2R」 講師 柳谷 晃子氏(アキコ食文化研究所長) 28名参加 【モノ・フォーラム】 2月9日(木)「食生活からはじめるエコライフ」 講師 石渡 尚子氏(跡見学園女子大学教授) 20名参加 【団体育成支援バス見学会】 8月24日(水)エフコ関東リサイクル工場・埼玉環境科学国際センター展示館 26名参加 【集団回収実践団体バス見学会】 12月5日(月)・7日(水)JFEアーバンリサイクル(株)・大田清掃工場 40名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみや環境への関心が薄い区民に対し、気軽に参加できるイベントの中で3R啓発を行い、意識の向上を図っていく。 ● 資源の分別も更なる周知を図るよう、様々な機会をとらえて啓発を図る。 ● 「文京 eco かるた」制作に伴う図案等の公募や3R啓発の標語募集により、区民の関心を高めていく。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供		<p>【エコ先生の特別授業】 実績なし</p> <p>【ふれあい講座】 区立小学校 16 校、都立文京盲学校、筑波大学附属視覚特別支援学校、筑波大学附属小学校で実施。延べ 1,032 名受講</p> <p>【子ども用品とりかえっこ～衣類とおもちゃの無料交換会～】 6月4日(土) 408 家族参加、出品数 4,793 点 交換数 4,102 点 11月19日(土) 397 家族参加、出品数 4,783 点 交換数 3,703 点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クールアースフェア（環境政策課主催）に出展。 7月7日(木) エコ資源の回収、ごみと資源の分別クイズ等を実施。 	
	(3) 地域活動団体等との連携	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● Bunkyo ごみダイエツト通信の町会による配布。 ● ステージ・エコ、エコ・リサイクルフェアにリサイクル・環境団体が出展し協働して 3R の普及啓発に取り組んだ。 ● 団体育成支援「公開講座」「バス見学会」をリサイクル活動団体と協働で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、地域活動団体、リサイクル・環境団体と連携し、3R の普及啓発に取り組む。 ● Bunkyo ごみダイエツト通信を活用し、団体等の活動状況を紹介する。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
2 普及啓発・協働の推進 事業者を対象とした	(1) 情報の提供	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物管理責任者に具体的な役割や重要性を理解してもらうことを目的とした動画をHPに掲載した。 ● 先進的な取り組みをしている事例のDVDを講習会等で活用し、必要と思われる事業者に対してはDVDを配付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者向けのごみ減量・リサイクルハンドブックを作成し、事業者の3R活動や適正処理の促進をする。 ● 平成29年10月の廃棄物処理手数料改定に併せて、更なる排出抑制の啓発に努める。
	(2) 事業者との連携	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 3Rの推進に積極的に取り組む47事業所に対して、リサイクル推進協力店の認定を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民の利便性を図るため、ごみと資源の分け方・出し方の冊子に、事業者の広告等の掲載を検討する。
3 家庭系の3Rの推進	(1) リデュース(発生抑制)の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 3R推進月間に向けて、区報9/25号1面で食品ロスの削減の記事を掲載し啓発を図った。再掲 ● フードドライブの実施 未利用食品を回収し、フードバンクに寄付を行うフードドライブをイベントに合わせて実施した。 エコ・リサイクルフェア 1回 食品回収量 約106kg ステージ・エコ 6回 食品回収量 約182kg 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品ロスの削減をテーマとする講座や講演会の開催や未利用食品の回収イベントで食品ロス削減の周知啓発を行い、発生抑制を推進する。 ● フードドライブについて、イベント当日以外にも回収期間を設けるなど、拡充を図る。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
3 家庭系の3Rの推進	(2) 生ごみ減量活動の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 【コンポスト化容器の斡旋】 13基斡旋（地上型6基、ベランダ型7基） ● 【生ごみ減量講座】 初級 6月17日(金)・22日(水)「生ごみ堆肥の作り方、使い方」 17名参加 初級 11月9日(水)「生ごみで腐葉土作り」 20名参加 中級 11月15日(火)「生ごみ堆肥の作り方」 17名参加 ● 【生ごみ交流会】 3月3日(金)「エコの花 腐葉土・堆肥で咲かせよう」 31名参加 ● 【エコ・クッキング教室】 親子対象 7月21日(木) 小学1・2年生 12組参加 7月22日(金) 小学3～6年生 11組参加 一般対象 11月25日(金) 21名参加 親子教室は、ガスの科学館で施設を利用した3R啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生ごみ減量講座やエコ・クッキング教室で、食品ロスについても啓発を図り、生ごみの減量につなげていく。 ● 食生活から生ごみの減量を考える講座を取り入れる。
	(3)モノを長く使うライフスタイルの促進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● リサイクル推進サポーター養成講座のカリキュラムに、2Rのライフスタイルを啓発する内容を組み込んだ。 ● Bunkyo ごみダイエット通信で、修理・修繕を行っているリサイクル推進協力店を紹介した。 ● ステージ・エコでおもちゃの病院を開設し、故障したおもちゃ類の無料修理を実施した。6回 延109件 	<ul style="list-style-type: none"> ● おもちゃの病院は26年度からPRを強化した結果、認知度が上がり毎回盛況となっている。子どもイベントに合わせた開設も検討する。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
3 家庭系の3Rの推進	(4) リユース (再使用)の推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 【子ども用品とりかえっこ～衣類とおもちゃの無料交換会～】再掲 6月4日(土) 408家族参加、出品数4,793点 交換数4,102点 11月19日(土) 397家族参加、出品数4,783点 交換数3,703点 ● 区内のフリーマーケット・バザーの開催情報をHPに掲載。9件 ● リサイクル推進協力店の各店舗の取り組み情報等をHPに掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども用品の交換会は参加者から好評を得ている。今後も年2回程度開催し、区民のリユース意識の向上を図っていく。 ● リサイクル推進協力店は、閉店による登録店舗数の減があった。修理やリサイクルショップの新規登録店舗を増やしていく。
	(5) 集団回収の 拡充	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団回収未実施の新築集合住宅へのPR実施や報奨金・支援金や作業補助用具の支給、回収実績が優良な団体に対する感謝状贈呈などを行い、集団回収のさらなる拡充と活動の支援に努めた。 ● 集団回収実践団体が活動している様子やインタビューをCATV(文京区民チャンネル、2・3月放送)で紹介し、PRを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団回収実践団体の登録数は年々増加しているため、引き続き支援を行っていく。 ● 新築集合住宅を中心にPRを行う。
	(6) 資源回収の 拡充	改善・ 見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源の持ち去り対策のため、清掃職員によるパトロールや警察と連携した取締りを行った。 ● 移動拠点回収(モデル事業)により、小さな金属類・水銀使用の体温計を含む10品目の回収を行った。 平成28年8月～29年3月 毎週土曜日 31日間 区立公園・児童遊園 16か所 回収実績 237.2 kg 回収実績が低いため、この事業は終了とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続きGPS端末の設置など効果的な取り組みを行っていく。 ● 小さな金属類・水銀使用計器類の回収はステージ・エコイベントで実施する。水銀使用計器類はリサイクル清掃課窓口でも通年で回収する。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
4 事業系の3Rの推進	(1) 大規模事業所の3R推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 1年間の実績報告となる再利用計画書の提出や事業用建築物立入調査、廃棄物管理責任者への講習会等を通じて、3Rと適正処理の推進を働きかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業系の紙ごみのリサイクルについては事業用建築物指導の際に働きかけを行っているが、分別の手間等の面から実施しない事業所も多い。横浜市や大阪市の例を参考に、資源化可能な紙類の清掃工場への搬入禁止等を一組や他区に提案していく。
	(2) 小規模事業所の3R推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● Rサークルオフィス文京に対しては事業用回収袋の作成、印刷製本組合に対して資源の回収袋を作成・支給し、取組みの支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品衛生実務講習会等他部署が行う事業者向けの講習会等の集まりにおいて、3R推進の普及啓発の実施を検討する。
	(3) 区の率先した取組みの推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 庁内 LAN に Bunkyo ごみダイエット通信の発行について掲載し、職員全体への周知・啓発を行った。 ● 紙類の購入量の削減、裏面使用（再使用）や分別の徹底について、全庁的な取組みの強化を図った。 ● 庁内 LAN で、各課・施設で不要となった備品等の転活用に積極的に行った。 ● 食品ロスの削減について庁内 LAN で啓発を行うとともに、職員食堂に「食べものに、もったいないを、もういちど」のテーブルトップやチラシを配置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙類の再使用や分別の徹底について、継続的な取組みを行う。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
5 適正処理の推進	(1) 適正な収集体制の維持	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者等を対象とした訪問収集、防鳥ネットの貸出、動物死体の処理などの事業につき、引き続き実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、ハイブリッド車など低公害車の継続的な導入により、環境負荷の低減に努める。
	(2) 区で収集しない廃棄物への対応	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 家電リサイクル法対象機器やパソコン、事業者等が自主回収をしている品目については、事業者への引き渡しについて周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭用パソコンへの対応については、宅配便を活用した小型家電の回収を行っている認定事業者と連携を図っていく。
	(3) 適正排出の推進	改善・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● 集積所利用の事業者に対する有料ごみ処理券の適正貼付指導や、不適切な排出者に対するふれあい指導などを通じて、ごみ・資源が適正に排出されるよう働きかけを行った。 ふれあい指導 8,579件 ● 移動拠点回収により、水銀使用計器類の回収を行った。(再掲) 回収実績(水銀使用計器類のみ) 1.6kg 	<ul style="list-style-type: none"> ● ふれあい指導の件数は増えており、引き続き適切な指導、相談業務を行っていく。 ● 水銀使用計器類の回収をステージ・エコイベントおよびリサイクル清掃課窓口で行う。
	(4) 事業系ごみの自己処理の促進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 適正な収集運搬・処理処分が行われるよう、一般廃棄物処理事業者に対して、許可の更新や更新時の指導などを行った。 ● 事業系ごみの自己処理原則の考え方を促進するため、排出事業者に対する一般廃棄物処理業者の斡旋を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物処理業者の斡旋については、電話で随時対応しているが、質の良い業者を紹介してほしいとの要望が多いことから、個別の業者を紹介できるか検討する。
	(5) 中間処理・最終処分	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● サーマルリサイクルのほか、鉄・アルミ等の資源を回収するなど、中間処理段階でのリサイクルを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間処理後、東京都が管理する最終処分場において埋立処分しているが、引き続きごみの減量等により、最終処分場の延命化に努める必要がある。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
5 適正処理の推進	(6) 災害時の対応	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 23区リサイクル清掃主管課長会において、災害時のし尿およびがれき処理の具体的な対応策についての検討を行った。 ● 【災害時等を想定した配車訓練】23区、清掃一部事務組合と連携して6月に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、課題解決に向けて検討を継続する。 ● 災害廃棄物処理対策（ごみ・し尿・がれき等）のマニュアルを検討する。 ● 23区、清掃一部事務組合と連携し、災害廃棄物処理基本計画の策定に向けた検討を行う。
6 運営管理体制の充実	(1) 双方向の情報交換と区民参画	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 【リサイクル清掃審議会】第6期 3回開催。文京区一般廃棄物処理基本計画の進捗状況やごみ量等を報告・審議。 ● リサイクル推進サポーター連絡会での懇談会が開催され、サポーターによる主体的な3R推進活動の取組みについて話し合われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● サポーターが主体となった3R推進活動について、具体的な活動につながるよう支援する。
	(2) 国等への要望	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 製造・販売事業者の拡大生産者責任に基づく取組みやエアゾール缶等の安全な収集・処理、容器包装リサイクル法改正等について、全国都市清掃会議や全国市長会を通じて国や業界団体へ働きかけを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 容器包装リサイクル法については、全国市長会等を通じて国に要望している。引き続き国の改正作業を注視しつつ、様々なチャンネルを利用し要望していく。
	(3) 行政内部での連携	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境政策課の区報掲載記事「文京版クールアース・デー」において、食生活とエコについて具体的な取組みを掲載し啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、各事業で関連部署との連携・協力を図っていく。

大項目	中項目	評価	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
6 運営管理体制の充実	(4) 処理費用負担の検討	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業系ごみ処理手数料について、「廃棄物処理手数料の改定ルール」に基づき、廃棄物処理手数料の算定を行った結果、廃棄物処理手数料原価と現行手数料との乖離があることから、廃棄物処理手数料の改定を行った。 改定時期 平成 29 年 10 月（23 区統一） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭ごみの有料化については、ごみ減量や 3R 推進のための働きかけを十分に実施し、そのうえでもなお、数値目標が達成できない場合において検討を行う。
	(5) 情報の公開	継続	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみや資源量、コストに関する情報のほか、一般廃棄物処理基本計画の進捗状況についてもホームページや Bunkyo ごみダイエット通信にて公開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、事業概要やホームページ、Bunkyo ごみダイエット通信等で情報公開を行っていく。